

授業の様子から



【1年】国語

パソコンを使って、ペアで相談しながら問題づくりをしています。ヒントを3つ考えて、食べ物当てる問題です。とても楽しそうです。

【2年】算数

分数の学習をしています。ピザを4人で同じ大きさに分けるとい生活事象から、分数とは何かを理解することができました。



【3年】国語

自分が体験したことや、そのとき感じたことを伝えるとき、どのような言葉で伝えたらよいか、教室背面掲示の「言葉の宝箱」で確認しています。

【4年】算数

4年の学習のしあげとして、小数のかけ算とわり算の復習に取り組んでいます。集中して問題に向き合っています。



【5年】社会

日本で起きた様々な自然災害を画像で見ながら確認しています。「自然災害を防ぐ」という視点で学習課題をつくっていきます。

【6年】算数

パソコンを活用して、小学5年の算数で学ぶ平均の計算方法を、プログラミングを通して勉強しています。

うです。そんな春がもう間近です。春の訪れは、どの国であっても、いつの時代であっても、人の心には、張り合いをもたらしているようです。

れしさが投影されています。そして、わらびの芽が、一斉に吹き出している様子に、春がやってきたうです。

岩をほとばしる雪解け水の流れに、そして、わらびの芽が、一斉に吹き出している様子に、春がやってきたうです。



『万葉集』に、「石走る垂水の上のさわらびの萌え出づる春になりけるかも」（志貴皇子）という歌があります。

なるほど、合点がいきます。

・ 地表に水が突然飛び出す ↓↓ 泉
 ・ 地中から芽が突然飛び出す ↓↓ 春

一方、日本語の「春」は、草木の芽が「張る（はる）」（つぼみとなる）季節であることや、気候の「晴る（はる）」が転じたという説などがあります。

このように見ると、「Spring」も「春」も、冬が去ったことを象徴する自然現象が言葉の成立した由来となっており、待ちわびた春への思いがうかがえます。

つばき
Spring is almost here!

今週、4年生が外国語の学習として、休み時間に職員室を訪れ、先生方に英語でインタビューをしています。

校長室にも複数の児童が訪れ、起床時刻や就寝時刻、勉強を始める時刻を英語で尋ねてきました。久しぶりに英語で他者と会話して、ちょっとドキドキしましたが新鮮でもありました。

せっかくだからと、英語に関するおもしろいことはないか調べてみました。やみくもに調べても意味がないので、もうすぐ訪れる「春」について調べてみると、おもしろいことが分かりました。

英語で「春」は、「Spring」です。この英単語は「泉」や「バネ」などさまざまな意味を持っていますが、もともとは「突然飛び出す」という意味なのだそうです。それから考えると、

・ 力によって突然飛び出す ↓↓ バネ
 ・ 地表に水が突然飛び出す ↓↓ 泉
 ・ 地中から芽が突然飛び出す ↓↓ 春

なるほど、合点がいきます。

一方、日本語の「春」は、草木の芽が「張る（はる）」（つぼみとなる）季節であることや、気候の「晴る（はる）」が転じたという説などがあります。

このように見ると、「Spring」も「春」も、冬が去ったことを象徴する自然現象が言葉の成立した由来となっており、待ちわびた春への思いがうかがえます。

